

## 令和元年度 市民大学特別講座プログラム様式（案）

（仮）「 日本酒学 いらっしゃい ～「日本酒学への招待」アンコールセミナー～ 」

### 1 趣 旨

「日本酒学とは何か」、日本酒を学問の視点から、前期・後期講座と学んできました。このたび、アンコールセミナーとして、日本酒学の奥深さや、日本酒の可能性のみならず、地元「新潟」により焦点をあて、作り手から販売、国内外に向けた情報発信まで、関連するエピソード等をおして学んでいきます。また、日本酒の PR イベントを紹介してつくりだされるにぎわいや交流、まち（づくり）の楽しさを学びます。

### 2 希望曜日・時間（2月上旬～3月上旬 全3回）

平日 午後7時 ～ 午後8時45分

3 講座コーディネーター 新潟大学 経済学部（日本酒学センター） 助手 渡辺 英雄

### 4 プログラム・指導講師

回	テーマ(案)	内 容	講 師
1	新潟で酒を造るということ ～顔の見える酒造りと、 変化や伝統の商品開発～	日本酒学（の概要）について知る。 蔵元から、酒づくりの思い・魅力・苦 労・消費者との関係づくりを学ぶ。 時代と共に変わりゆく商品やこだわ りの商品について、消費者と製造者そ れぞれの視点の商品開発を学ぶ。	新潟大学 日本酒学センター 助手 渡辺 英雄  〇〇酒造(株) 蔵元 〇〇 〇〇さん
2	蔵元の思いや酒の物語を伝える ～ただ売るのではない、 日本酒を介して伝えたいもの～	販売店と蔵元とのつながりについて 学ぶ。 酒に込められた思い、酒がもつ個性、 酒の物語を添えて最前線で消費者と 向き合う日本酒の案内人（販売者） の魅力や苦労、人情を学ぶ。	〇〇酒店 〇〇 〇〇さん
3	人と酒が醸し出すにぎわい ～「にいがた酒の陣」に向けて～	酒蔵や販売店の思い・願いとともに、 酒の陣の仕かけや舞台裏、こぼれ話に ついて学ぶ。	新潟淡麗 にいがた酒の 陣実行委員会・新潟県酒 造組合の方1～2人 (必要であれば)進行役・聞き手・コー ディネーター 新潟大学 日本酒学センター 助手 渡辺 英雄

※各回試飲を予定